

不妊や起立性調節障害が数回で改善 ゆがみ取り SPAT は自費診療の武器になる

【聞き手】ゆがみ取り SPAT 開発者 鹿島田忠史

『ゆがみ取り SPAT 下巻』が 2021 年 4 月に刊行され、2020 年 10 月発行の上巻と合わせて全体が完結した。開発の経緯については、本年 4 月のインタビュー記事（4 月 7 日号、4 月 14 日号）をご一読願いたい。このシリーズでは、実際の臨床場面でゆがみ取り SPAT を早くから取り入れている何人かの治療家に登場してもらい、私と対談してもらうこととした。第 4 弾のお相手は、ゆがみ取り SPAT の開発初期から指導講師として活躍している谷貝智宏氏。ゆがみ取り SPAT を臨床応用している治療家の生の声を聴くことは、これからゆがみ取り SPAT を取り入れるようとしている治療家にとって、非常に参考になるはずだ。（鹿島田忠史）

谷貝智宏（やがい・ともひろ）

1973 年 神奈川県生まれ。

1998 年 順天堂大学スポーツ健康科学部健康学科卒業。

1998 年 鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師免許取得、同年より山根カイロプラクティック研究所勤務。

2002 年 柔道整復師免許取得。

2002 年 6 月 緑ヶ丘鍼灸整骨院・整体院開業。

2010 年 5 月 SPAT UNION CLUB 認定指導講師就任。

2018 年より 公益財団法人体力づくり指導協会講師。



谷貝智宏氏

鹿島田 谷貝先生が 2010 年にゆがみ取り SPAT 認定指導講師の資格を取られてからもう 11 年になります。長い間ゆがみ取り SPAT 普及に熱心に取り組んでいただいて、改めてお礼を申し上げます。今日は、先生とゆがみ取り SPAT（以下 SPAT と略す）の関わりについて、いろいろとお話を伺いますので、よろしくお願いたします。

谷貝 こちらこそ、貴重な機会をいただきありがとうございます。今日もよろしく願いいたします。

鹿島田 谷貝先生と SPAT の関わりを聞く前に、そもそもの話をお聞きします。先生のホームページを拝見すると、順天堂大学卒業後はトレーナーをめざしていたが途中から一般の人の施術に興味に移ったと書かれていました。一般の人を対象にしようと思ったのは、どんな理由からだったのですか。何かきっかけがあったのですか。

谷貝 一般の方はスポーツ選手よりも比較的施術の効果が表れにくく回復に時間がかかるので、難しさと同時にやりがいを感じるようになりました。それからは、何が何でもスポーツ選手を、というこだわりはなくなり、来ていただいた患者さんを全員治したいという思いに変化していきました。

鹿島田 昼間の大学と夜の専門学校のダブルスクールを終わって、スポーツ選手が多く訪れる施術院で働き始めたそうですね。その施術院の院長先生は腰痛や肩こりなどの慢性疾患にどんな施術をメインにしていたのですか。

谷貝 院長先生は、アメリカの大学を出られて米国政府認定カイロドクターの資格と、日本の鍼灸あん指師の資格をお持ちだったので、メインがカイロプラクティック、サブが鍼治療でした。

SPAT は楽器に例えるとピアノ

鹿島田 谷貝先生が初めて SPAT の講習を受けたのは、日本柔道整復専門学校の同級生金子徹先生のお誘いがきっかけだったと記憶しているのですが、そうですね。

谷貝 はい、実はそうなんです。

鹿島田 お誘いがあったとはいえ、どうして SPAT に興味を持たれたのでしょうか。金子先生の強引な誘いを断り切れなかったとか（笑）。冗談はともかく、何かピンとくるものがあったとか。

谷貝 当時はほぼ毎週色々な講習会や勉強会に積極的に参加していました。SPAT は金子先生のお勧めだからきっと素晴らしいものだろうという期待感がありました。

鹿島田 私の開催する講習会に参加されたとき SPAT に対する正直な第 1 印象はどうでした。

谷貝 無駄をそぎ落とした、とてもシンプルな手技だなと思いました。

鹿島田 当時、私は「SPAT は簡単で、すぐにできるようになります」とっていた記憶があるのですが、実際に簡単だと思いましたか。

谷貝 楽器で例えると、叩けばすぐに音が出るピアノのように、SPAT も初心者の段階である程度の結果がすぐに出るので一見簡単そうに思えたのですが……、ピアノと一緒に極めていくには奥が深いと感じました。

臨床に取り入れるにあたって SPAT を無料サービスにして場数を踏む

鹿島田 何回かの講習を受けて、ある程度 SPAT ができるようになったはずですが、臨床に取り入れるのは難しかったですか。新しいことをするときの患者さんのとまどいや不安もありますし……。

谷貝 SPAT 施術に自信を持ちたかったのも、まずは通常の施術に無料サービスのおまけで SPAT を付け足すことで、場数を踏みました。患者さんは無料でやってもらえて、しかも体が楽になってラッキー、という感じでした（笑）。

鹿島田 谷貝先生が開業されたのは、2002 年ですから、開業 8 年後に SPAT を本格的に取り入れられたわけですね。その場合、鍼灸などそれまでの施術との兼ね合いや使い分けはどうしたのでしょうか。SPAT を取り入れようとするとき、兼ね合いのほかにどんな問題点がありましたか。もし問題点があったとしたら、それをどのように解決していったのでしょうか。

谷貝 SPAT はほかの施術と組み合わせやすいので、疾患ごとに施術テンプレートを作り直しました。例えば産後の骨盤矯正ならば、骨盤 SPAT と電気療法をやる、のように。ほかに問題点としては、複数のスタッフがいたので、全体の技術レベルの底上げです。解決法としては、SPAT 無料期間を設けて多くの臨床経験を積んでもらうようにしました。

SPAT は不妊や起立性調節障害にも有効！

鹿島田 SPAT を初めて臨床で試したとき、谷貝先生の感想はどんな風だったのですか。また、患者さんの反応はどうでしたか。

谷貝 たったこれだけの手数で、変化を出せるんだ！ という驚きです。施術後のゆがみ判定で患者さん自身も驚いていました。それからは、施術方針が最少の手数で最大の効果を出すことに意識が変わりました。

鹿島田 SPAT をしていて、してよかったと手応えを感じるのはどんなときですか。実例があったら教えてください。

谷貝 やっぱり患者さんの変化が出て、喜んでもらった時です。3 年間不妊で悩んでいて、6 回 SPAT を試してみたら子供を授かった患者さんからは、とても喜んでいただけました。

鹿島田 SPAT を臨床でしているとき、他の施術を比べてよかったと思える点は何でしょう。また、そう思えた症例がありましたら教えてください。

谷貝 ゆがみ取り SPAT はどんな症状に対しても有効なことです。筋骨格系の疾患はもちろんですが、自律神経系の疾患にも有効です。最近の症例として起立性調節障害の患者さんが 4 人いらして、みなさん改善されました。

SPAT は施術効果の高い本物の施術法

鹿島田 実際の SPAT をするとき、難しく感じる点にはどんなものがありますか。それは、経験を積みれば解消できるものなのでしょうか。

谷貝 動診のときに、患者さんにどちらが感じが良いかを聞くのですが、ほとんどの方は普通に生活をしている上で、これは感じが良い、これは感じが良くない、といった判別を常日頃からしていません。本能的な感覚を引き出すことに慣れていないので、慣れていただくまでに個人差があることです。ですが、経験を積みれば患者さんを短時間でセットアップできます。

鹿島田 最初に接したときと現在で、SPAT の内容は違ってきていますか。違っているとして、どこがどれくらい違うようになったのでしょうか。

谷貝 大筋は変わっていないのですが、細かいところがマイナーチェンジされています。体の向き、体勢、持ち手、など。もっと施術効果を出すにはどうすればよいかを突き詰めた結果の変更点なので、好意的に解釈しています。

鹿島田 SPAT は自費診療の武器になってほしいと願っているのですが、実際の臨床での手応えはいかがでしょう。もし、自費診療の武器にする上で注意点があるとすれば、どんな点でしょう。

谷貝 自費診療の条件として、第一に施術効果が高いことが挙げられます。SPAT は間違いなく本物の施術法です。注意点としては、リラクゼーション目的の患者さんのニーズには合っていないので、もし患者さん層がそういう方が多いのなら、施術目的の新たな患者さん層の獲得が必要になります。

操体理論による生活習慣指導は役に立つ

鹿島田 SPAT では手技以外に、操体理論による生活習慣指導を重視しています。患者さんに生活習慣指導をしようとするとき、「余計なことを言わずに施術だけしてくれればいい」という顔をされませんか。また、そうした反応にあったとき、どのように対処して乗り越えました。あるいは、今でも困難を感じますか。

谷貝 恥ずかしながら操体理論を学ぶ以前は施術だけしかしていなくて、患者さんに生活習慣指導をしていなかったんです。施術して改善してもまた再発をして来院されることを繰り返していて、ちょうどそのことに悩んでいた時期に操体理論を学ぶことができました。それからは根本改善を施術方針に掲げていますので、患者さんにはご理解いただいています。根本改善を希望しない患者さんは自然と来院しなくなっているのではないかと思います。

鹿島田 操体理論による生活習慣指導の有用性を感じることはありましたか。あったならば、どんな場合でしょう。例があったら教えてください。

谷貝 公益財団法人体力づくり指導協会の講師をさせていただいているのですが、ほとんどの方が今までに生活習慣指導の講義を受けたことがない方でした。医科学的にエビデンスがあることを体系的にお伝えしていますので、講義を受けた受講生さんからは現場で役に立ったという喜びの声をいただいています。

SPAT は施術者が体力を消耗しないですむ手技

鹿島田 私も今年 73 歳になりました。3 年前に大腸がんを患ったこともあり、体力の低下を実感していますが、何とか施術を続けられています。SPAT は、あまり体力を消耗しない手技だと自負しているのですが、谷貝先生の感想はいかがですか。

谷貝 私も体力の衰えは感じてきています（笑）。長く施術家を続けられるように、体力の消耗をしない施術に徐々にシフトチェンジしていますし、施術時間もどんどん短縮しています。SPAT はそんなニーズにぴったりです。

週刊あはきワールド 2021 年 8 月 4 日号 No. 724 より許可を得て転載